



心をあわせて

11月26日(土)に2016音楽会があります。今回の音楽会のめあては、次のとおりです。



- 心をこめて表現し、互いに協力することでよりよい音をつくりだすこと
- 発表し聴きあうことで他学年のよさを見つけあうこと
- 合唱や合奏の練習をとおして、自分の成長を振り返り、さらに伸ばしていこうという意欲を高めること



音づくりを中心にしたプログラムは、子どもたちの発想や意見の中から生み出されたものになっています。なぎさっ子のふるえる心(感性)を感じていただければ幸いです。

会場は「上野学園ホール」で行います。これまで、1家庭にお一人かお二人だけの参加でしたが、今年度は、席も2倍以上になりましたので、ご家族そろって楽しいひと時を過ごしていただけるものと思います。

先日、朝の会で「全校音楽」をしました。本番まで1週間以上ありますが、みんな、心をあわせて歌い、気持ちのよい朝の始まりでした。本番の音楽会がとても楽しみになりました。

皇帝ダリア

皇帝ダリアは、日が短くならないと花芽ができないので、開花期が遅く11月下旬から咲き出します。成長すると5~6mにも達し、2階の窓から花を楽しめるようになります。毎年、なぎさっ子のためにと、工大高校から届けられています。

11月の生活目標

- 音楽会ではふるえる心を発揮しよう
- 読書をしよう

なぎさ会遊学塾
「読み聞かせ」
講座の皆さんによる
読み聞かせ



読書週間にあわせて、なぎさ会遊学塾「読み聞かせ」講座の皆さんがクラスの読み聞かせをしてくださいました。

年間4回の読み聞かせ交流を行っていますが、今回は、全クラスでの交流で子どもたちも楽しんでくれていました。講座のコーディネーターの私ももちろん参加しました。秋の季節に合った本、民話や昔話、科学絵本などいろいろなジャンルから本を選び、練習し、子どもたちに楽しんでもらいます。子どもたちにとっては

読書の幅をひろげる絶好のよい機会となっています。関心のある方は、いつでも参観できますので来てみてください。

子どもを伸ばす4つのルール <早寝・早起き・朝ごはん・読書>によると、読書をするとは自分では体験できない世界を本の中で疑似体験することができるそうです。読み聞かせは音声を通してイメージ豊かな世界に子どもたちを誘うことができると言われています。

読書週間

<11/7~11/11>

読み聞かせ



本の楽しさにふれて、一日をスタートすることは、子どもたちの学ぶ意欲にもよい影響があります。いい気持ちで学校生活を始めたいとの思いから、低学年では、担任や副担任、英語科の先生などが交替で子どもたちに本を読み聞かせています。

一番の願いは、本の楽しさを伝えることです。さらに、担任以外の先生とのふれあいの時間を持ったり、日頃の生活の中でのつながりを大切にしたりすることもできます。絵本を見ながら、お話を聞いて創造する力も鍛えられます。

よい事ばかりの本の読み聞かせです。ご家庭でも、是非一緒に楽しんでみてください。